



## 石川に新たな夏の風物菓子を つくる試み。

### 《 農菓プロジェクトによる「夜舟」プロジェクト 》



菓子 農家  
『河田ふたば』 × 『かわに』 五郎島金時・紫イモ  
『六星』 もち米「白山もち」



菓子 農家  
『御菓子司 たにぐち』 × 『ひらみゆき農園』 能登ブルーベリー  
『JAはくい』 もち米「カグラモチ」



菓子 農家  
『菓子工房 日本堂 五彩庵』 × 『六星』 もち米「白



菓子 農家  
『お菓子処 佐吉庵』 × 『ながせ』 もち米「神楽米」



菓子 農家  
『塚田農産』 国産柚子  
『のむら農産』 × 『本田農園』 ミントマト「はな小町」  
『のむら農産』 もち米「カグラモチ」



菓子 農家  
『笠間農園』 枝豆「湯あがり」  
『御菓子司 八野田』 × 『きよし農園』 金沢ゆず  
『北辰農産』 もち米「カグラ

#### 【「夜舟」を製造する和菓子店】※2018年5月現在

『お菓子処 佐吉庵』(羽咋市)、『御菓子司 八野田』(羽咋市)、『御菓子司 たにぐち』(宝達志水町)、『御菓子処 美福』(金沢市)、『六星 すずめ』(白山市)、『菓子工房 日本堂 五彩庵』(能美市)、『御菓子 中村屋』(能美市)、『のむら農産』(小松市)、『河田ふたば』(小松市)、『小山芳月堂』(加賀市)、『粟森梅月堂』(金沢市)、『なかざき生菓子店』(金沢市)

#### 【食材を提供する農家】※2018年5月現在

『かわに』(金沢市)、『六星』(白山市)、『ひらみゆき農園』(能登町)、『JAはくい』(羽咋市)、『ながせ』(羽咋市)、『笠間農園』(内灘町)、『きよし農園』(金沢市)、『北辰農産』(白山市)、『塚田農産』(能美市)、『本田農園』(小松市)、『のむら農産』(小松市)、『岡元農場』(能美市)、『たけもと農場』(能美市)、『堀真一郎』(加賀市)

#### 【販売について】

日程/7月12日(木)~16日(月・祝)  
場所/参加和菓子店ほか、  
『道の駅 のと千里浜』羽咋市千里浜町タ1-62  
『アピタ松任店』白山市幸明町280  
『農家屋かわに』『六星直売店 すずめ金沢百番街  
金沢市木ノ新保町1-1 金沢百番街あんと内  
※各店店頭にてそれぞれの店の夜舟を販売予定。  
※販売期間中は、上記店舗にて日替わりで数種類の夜舟を販  
※どの夜舟が店頭に並ぶかは農菓プロジェクトのSNSにて発表

和 金沢を筆頭に、スイーツの消費量が全国でもトップレベルの石川県。茶の湯が盛んであったことから菓子店が多く、私たちの生活の中にも、ちょっとしたお茶うけに甘いものをいただく習慣が根付いている。

2015年に始動した「農菓プロジェクト」は、石川県内の農家と和菓子職人が出会い、互いの業界を盛り上げ、石川の食文化を未来に繋げたいという主旨で立ち上げられた団体。2016年の秋には「創作和菓子コンテスト」を開催。翌年には東京でコンテストを開き、本プロジェクトを通じ、首都圏にて石川県の食文化を広く発信した。

その「農菓プロジェクト」が、今年新たに企画したのが「夜舟プロジェクト」だ。「夜舟」とはいわゆる「御萩」(本来は秋の色のことで、春は「牡丹餅」、冬は「北窓」というのが正式な名称で、「夜舟」はその夏の呼び名を指す。この試みには「冬のイメージの強い石川の食文化に、県産の農作物を必ず用いた新たな夏の風物菓子をつくることのできる厚みを持たせたい」との願いが込められている。

「夜舟」を製造する和菓子店は12店、食材を提供する農家は14社(今後、さらに増える予定)で、今年7月、各店舗ほか県内の商業施設にて販売される。もち米や野菜など、県産農産物を使い趣向を凝らしたバラエティ豊かな「夜舟」をぜひ。